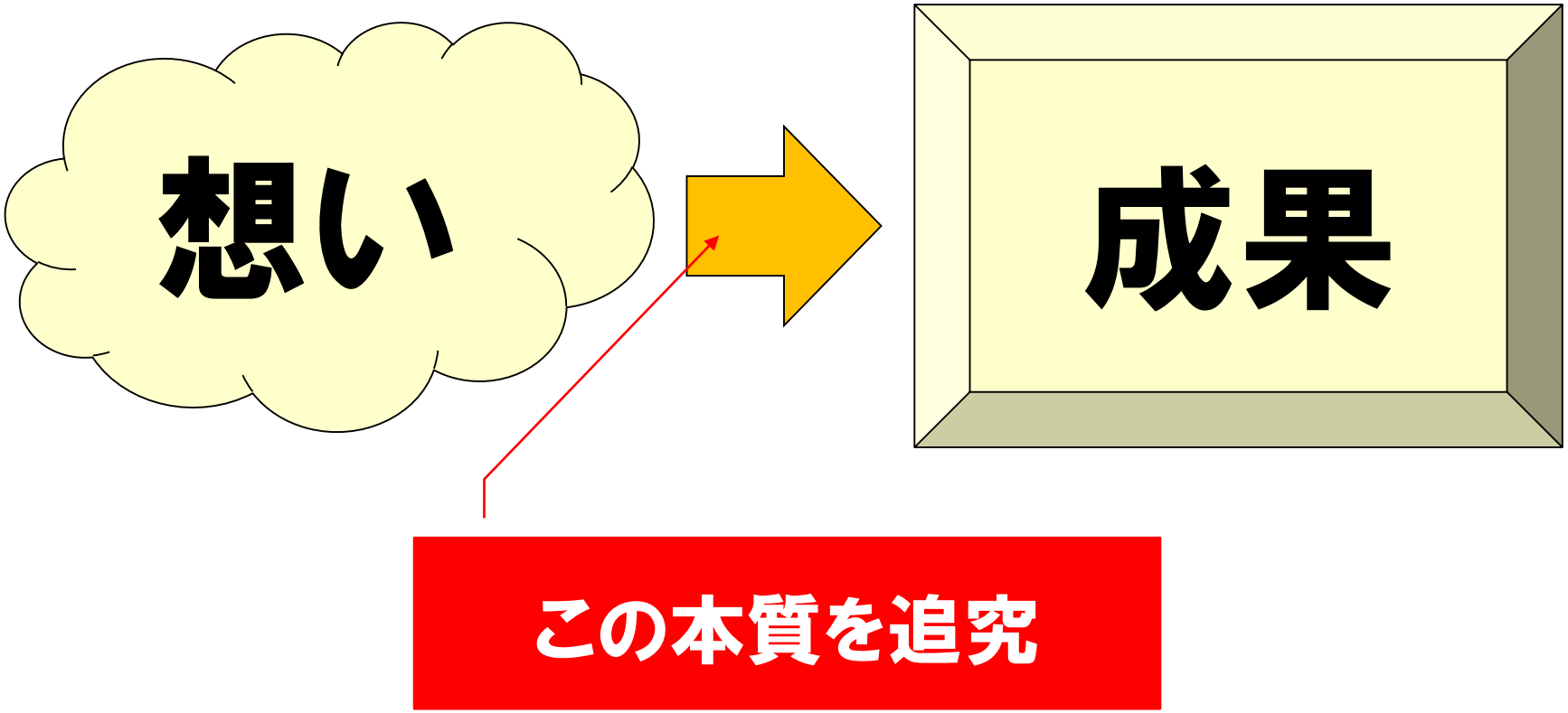
想いを育て戦略展開するプロセスの研究WG 5

活動報告
（2018年6月～2019年5月）

2019年5月30日

我がWGの出発点



漠然とした“想い”を成果につなげる“戦略”として描き、
その戦略を“実現するしくみ”にする一連のプロセス

フレームワーク作成の背景と目的

VCPC
Value-Chain Process Council

■背景・動機

- 企業活動において、
  「漠然とした“想い”を成果につなげる“戦略”として描き、その戦略を“実現するしくみ”にする一連のプロセス」
  が質の差はあれ動いているが、それらをプロセスとして捉えて全体像を明らかにしたプロセス参照モデルはない。

- 上記一連のプロセスを構成する各種場面において、世の中で使われている多くのプロセスモデルは、特定の業務や目的の下でフィットするものであり、検討対象範囲がそのモデルが想定している対象範囲を越えてしまうと、使えない(使いづらい)ものとなってしまう。

- 既存の各種プロセス(参照)モデルを包含した、上記一連のプロセスの参照モデル(フレームワーク)があると、個別のモデル自体も使いやすくなる。

■目的

- 「“想い”を育て実現し成果に繋げる一連のプロセス」の参照モデルを形にする

メンバー紹介

メンバー	所属
駒井　忍	VCPC研究員
三枝　利彰 ＊リーダー	日本ビジネスクリエイト
島田　昌典	三菱総合研究所
鈴木　健	ソラリグ
鈴木　淳一	三井E&Sシステム技研
高村　俊彦	フリーランス
藤林　寿	日立システムズ
山口　修	コンビ

（五十音順、敬称略）

アドバイザー：　中山　健　（日立ソリューションズ東日本）

報告内容

＜前期までの活動より＞

1. VCMプロセスフレームワーク(VCPCキューブ)のご紹介

＜今期の活動報告と次期活動予定＞

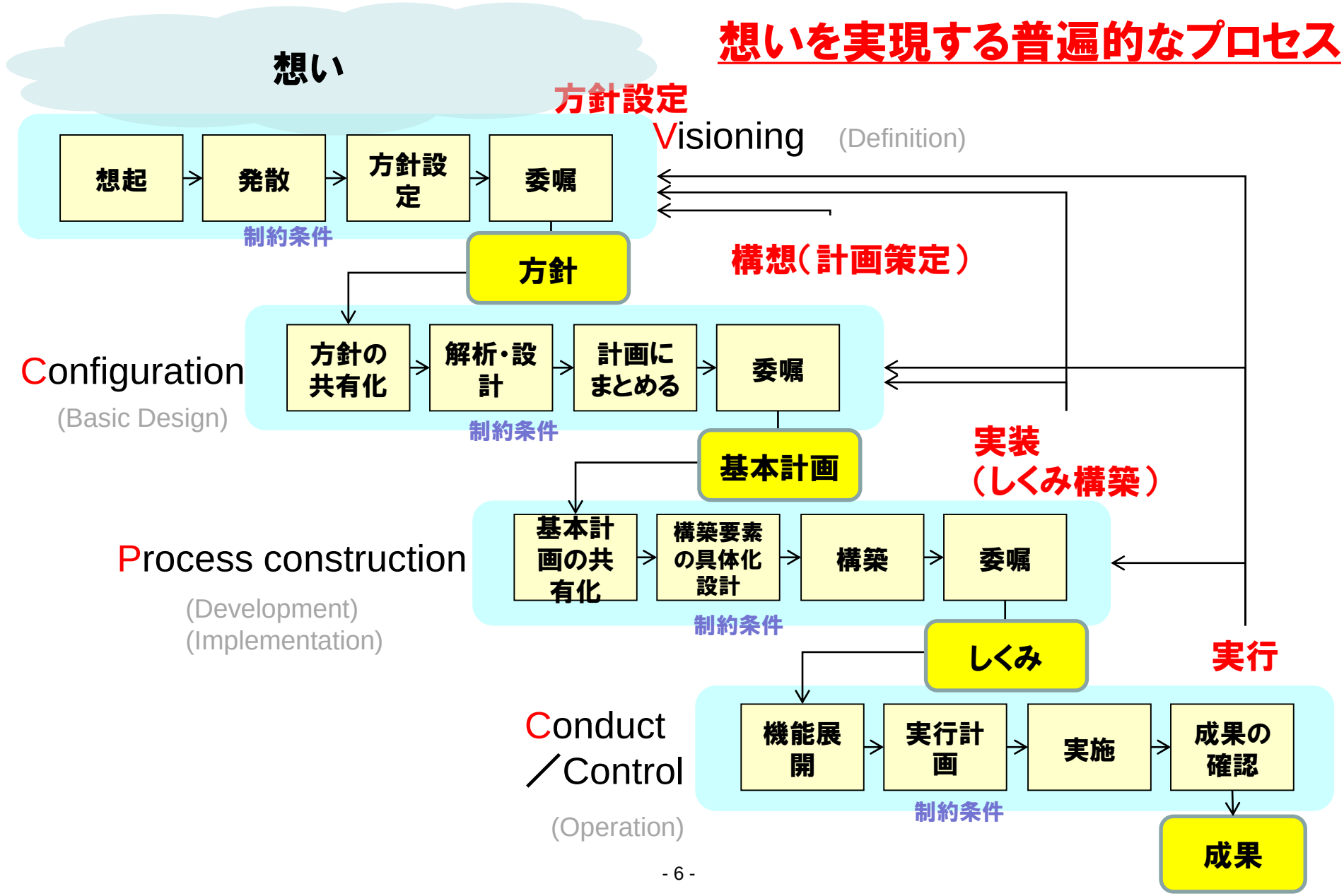
2. プロセス定義の作成

3. 次期の活動内容とメンバー募集

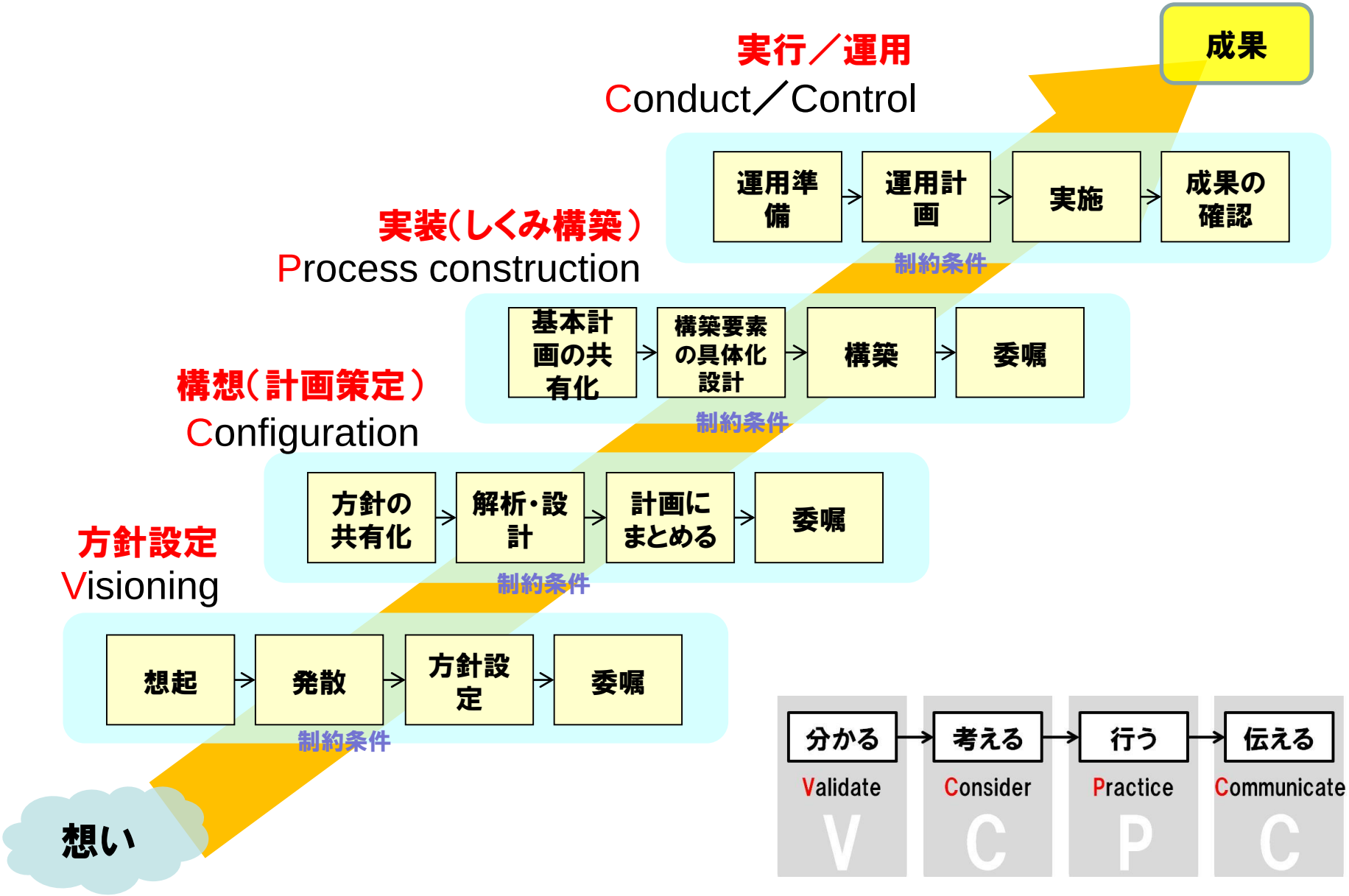
1) VCMプロセスフレームワーク

VCPC
Value-Chain Process Council

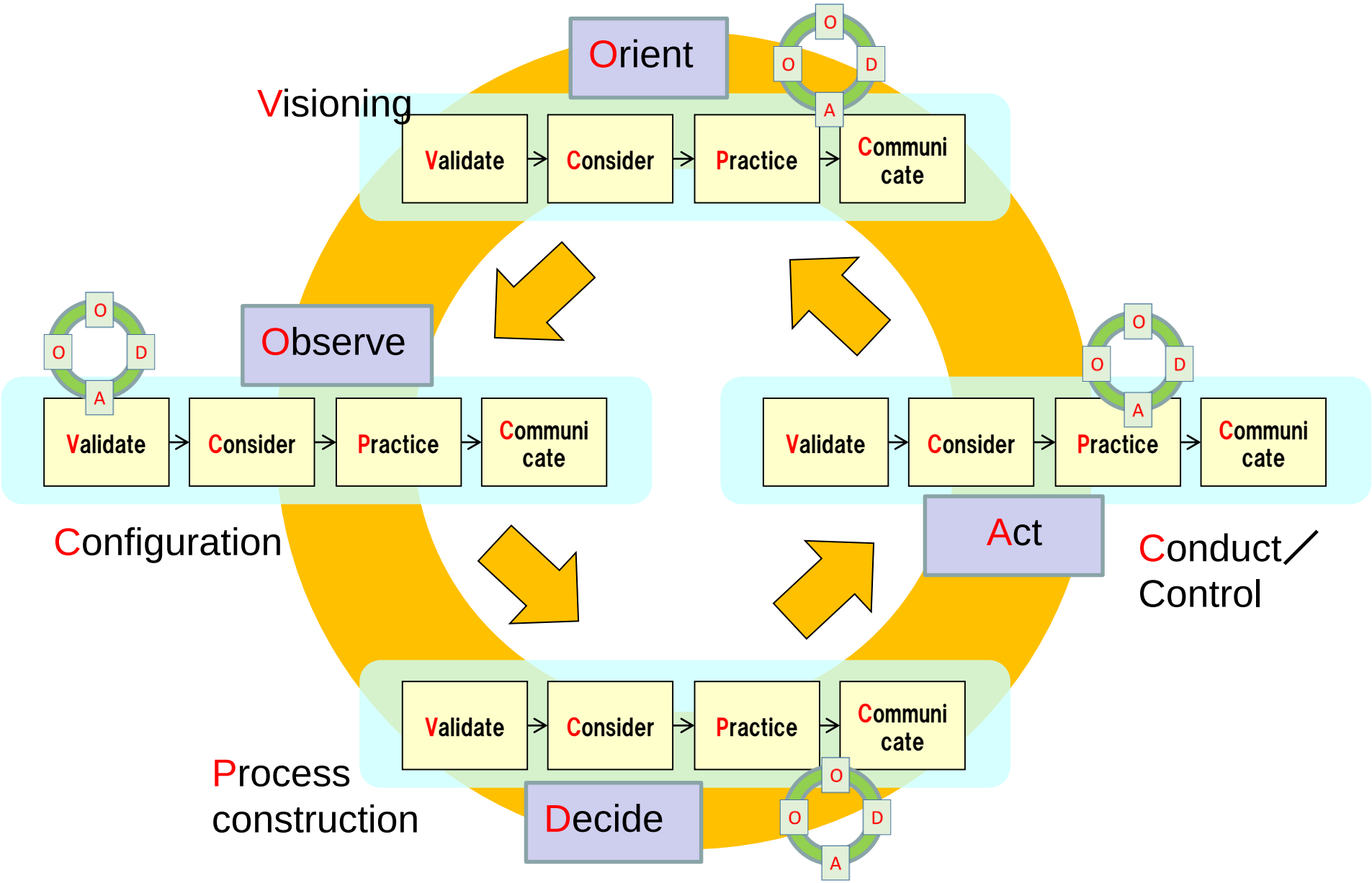
想いを実現する普遍的なプロセス



【補足】ウォーターフォールが馴染まないという方は・・・



【補足】 OODAループがしっくりくる方は・・・



2）プロセス要素は3次元で定義できる ⇒ VCPCキューブ

VCPC Value-Chain Process Council

【レベル0】

【自分にとって】	既存	新規
初めて	Challenging (C)	Value exploring (V)
経験あり	Conservative (C)	Paradigm shift (P)

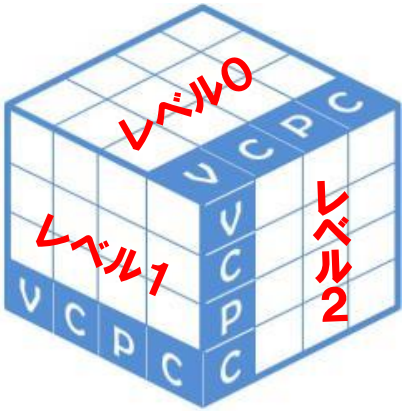
【世の中にとって】

想いを実現するプロセスは4×4×4＝64コの要素で表現できる

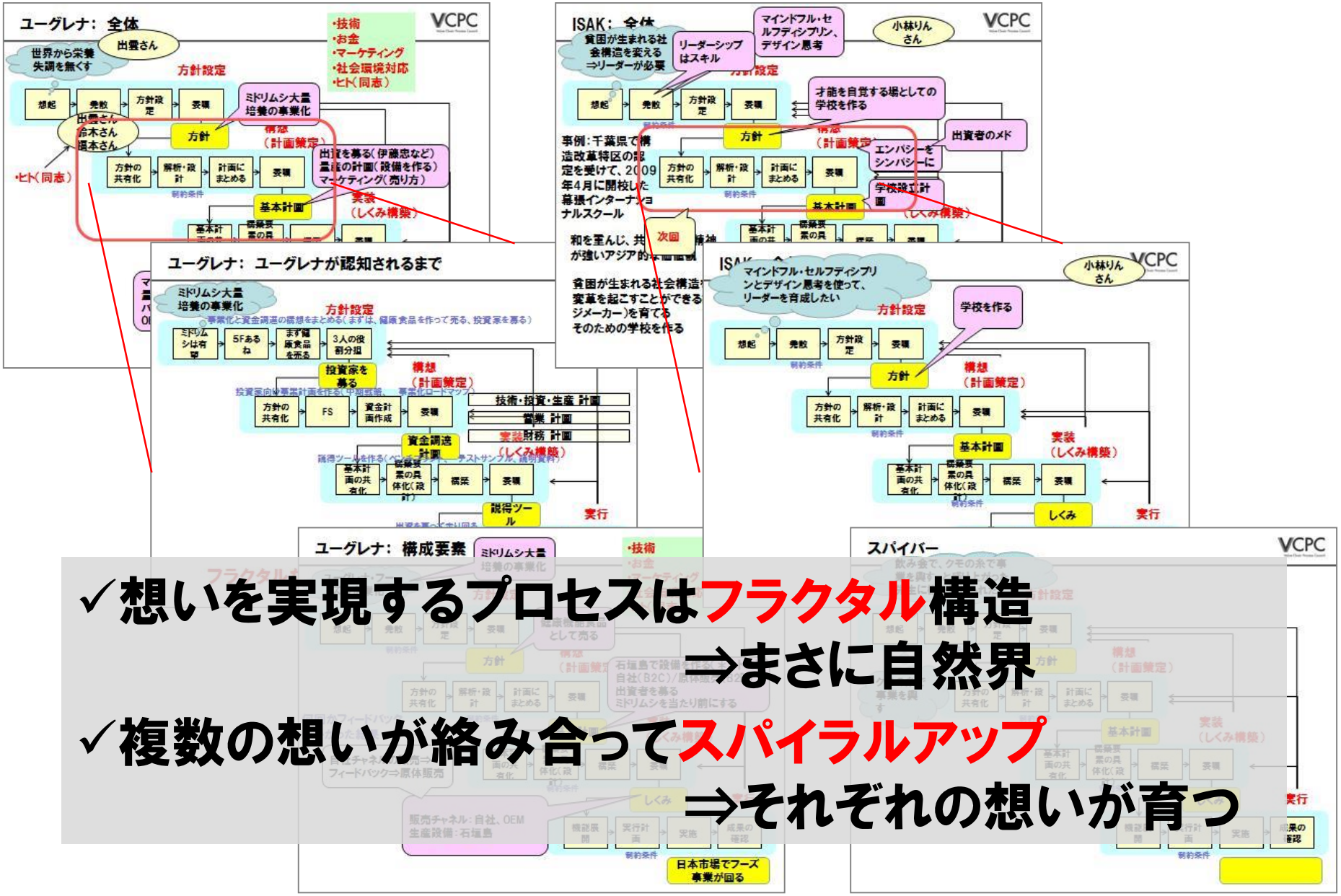
【レベル1】

想起	発散	方針設定	委嘱	方針設定 → Visioning
方針共有	解析設計	計画立案	委嘱	構想 → Configuration
計画共有	具体化	構築	委嘱	実装 → Process construction
機能展開	実行計画	実施	成果確認	実行 → Conduct ／Control
分かる	考える	行う	伝える	
Validate (V)	Consider (C)	Practice (P)	Communicate (C)	

【レベル2】



3） それぞれの場面で「想い」を「実現」するプロセスが存在



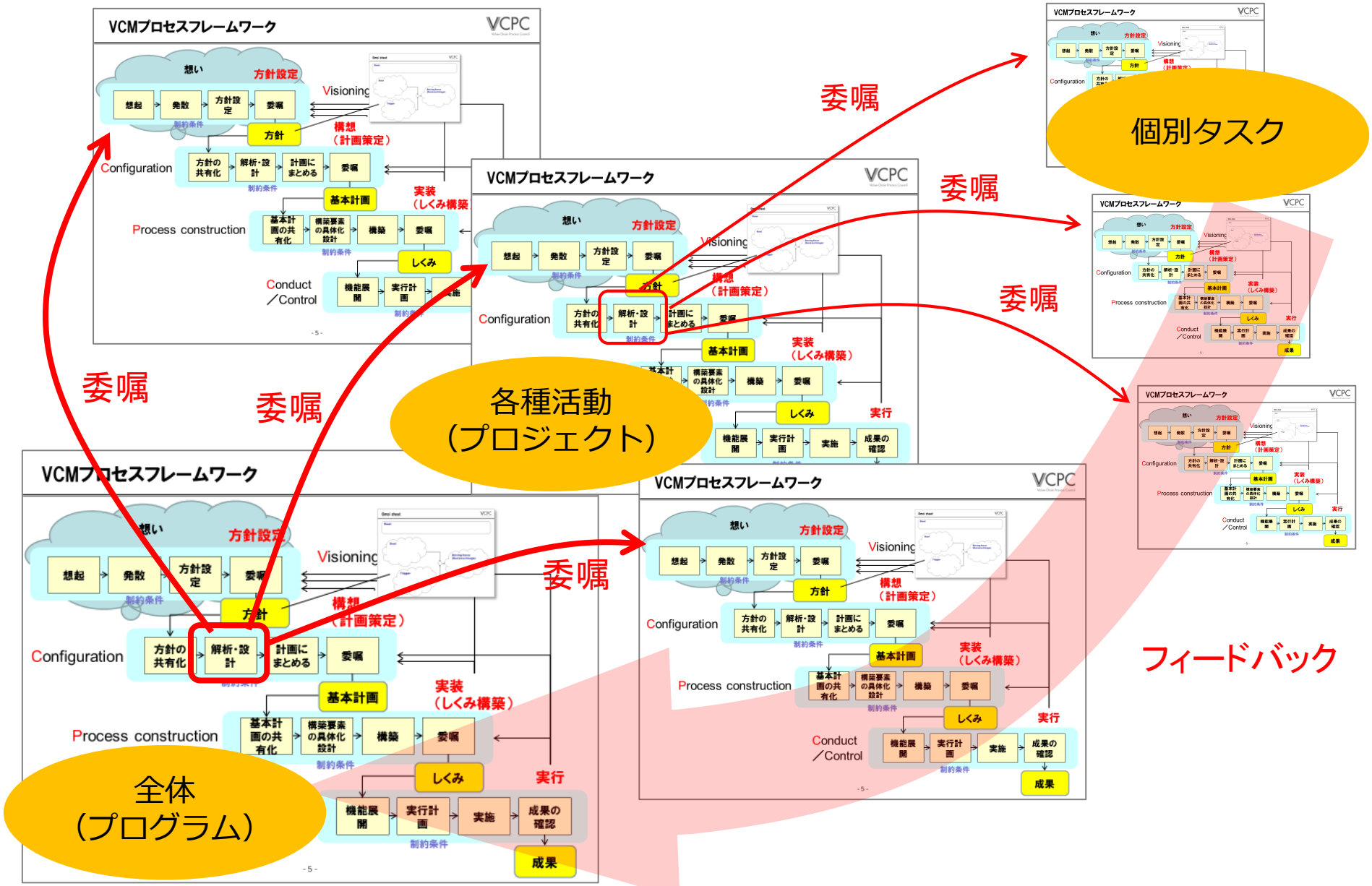
✓想いを実現するプロセスは**フラクタル**構造

⇒まさに自然界

✓複数の想いが絡み合って**スパイラルアップ**

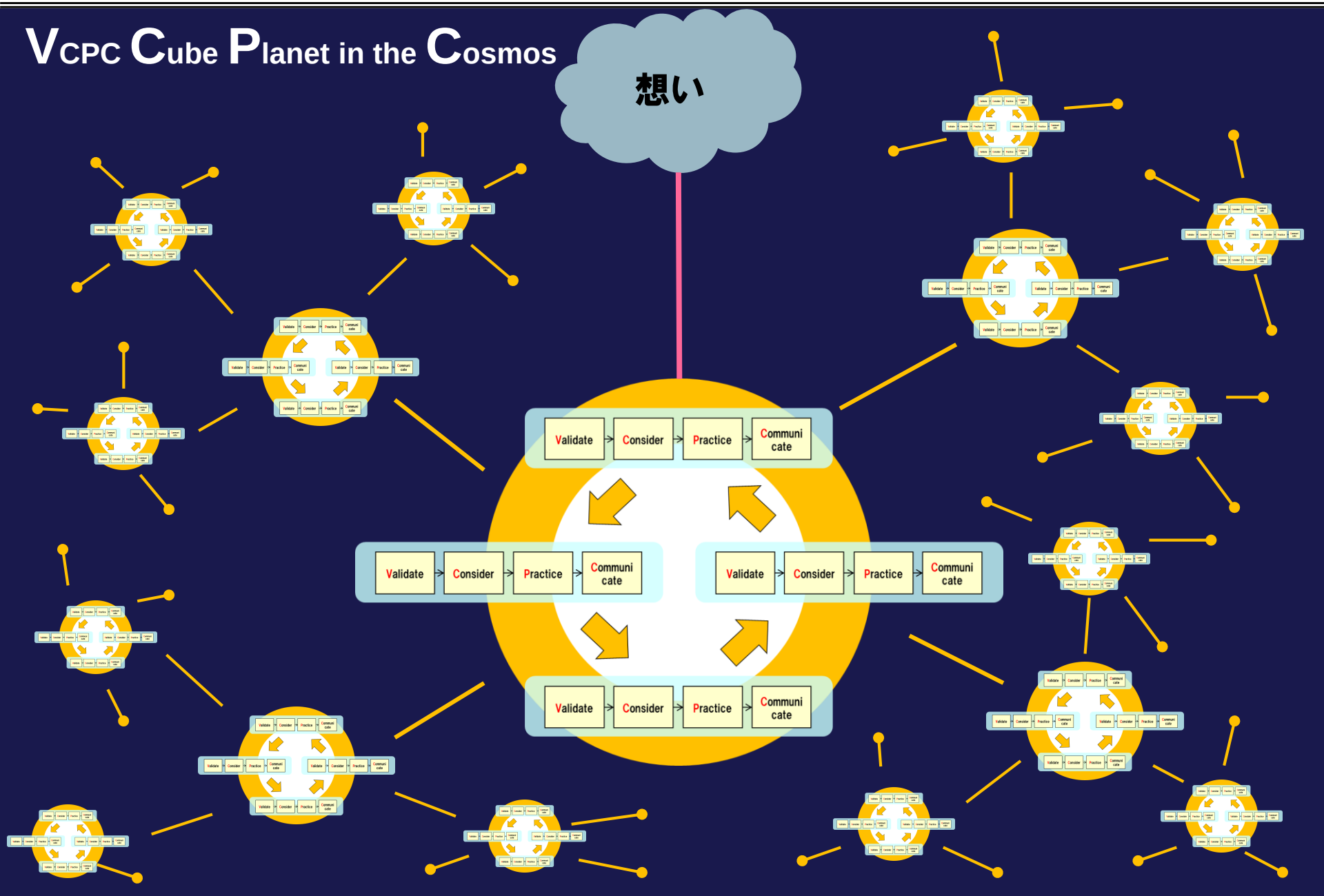
⇒それぞれの想いが育つ

【補足】“フラクタル”と“スパイラルアップ”のイメージ



【補足】VCPCキューブの世界感

VCPC
Value-Chain Process Council

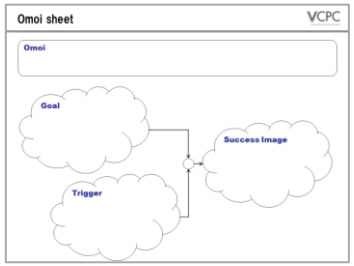


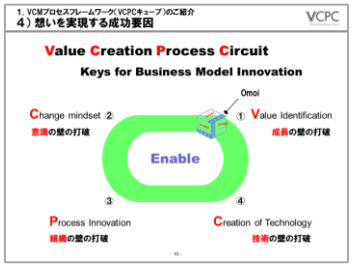
4）想いの実現に向けた検討ステップ

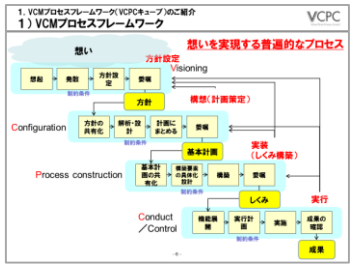
VCPC
Value-Chain Process Council

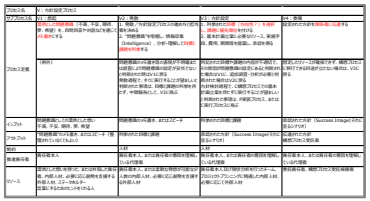
戦略のイメージング → **戦略の展開**

Omoi	Level0	Enable	Level1	Level2
成功イメージを明確にする	イノベーション度合いを認識する	CSFを考える	大まかなロードマップをイメージする	具体的な活動を設定する









今期の活動成果

2. プロセス定義の作成

1）プロセス定義のフレームワーク

VCPC
Value-Chain Process Council

プロセス名	レベル1プロセス名称			
サブプロセス名	レベル2プロセス名称			
プロセス定義				
インプット				
アウトプット				
制約				
推進責任者				
リソース				
ツール・手法				
共通手法				

2）プロセス定義の内容

VCPC
Value-Chain Process Council

～プロセス定義書より一部抜粋～

プロセス名	V：方針設定プロセス			
サブプロセス名	V1：想起	V2：発散	V3：方針設定	V4：委嘱
プロセス定義	漠然とした問題意識（不満、不安、期待、夢、希望）を、自問自答や対話などを通じてメモ書きにする	1. 発散／方針設定プロセスの進め方と担当者を決める 2. “問題意識”を咀嚼し、情報収集（Intelligence）、分析・理解して目標と課題を列挙する	1. 列挙された目標（方向性？）を選択し、課題に優先順位を付ける 2. 基本計画立案に必要なリソース、実施手段、費用、期間等を提案し、承認を得る	設定された方針を関係者に伝達する
	（例外）	問題意識のメモ書き等の表現が不明確または調査により問題意識の設定が妥当でないと判断された時はV1に戻る 発散過程で、すぐに実行することが望ましいと判断された事項は、目標と課題の列挙を待たず、中間報告として、V3に飛ぶ	列記された目標や課題の内容が不適切で、その原因が問題意識の設定にあると判断された場合はV1に、追加調査・分析が必要と判断された場合はV2に戻る 方針検討過程で、C構想プロセスでの基本計画立案を待たずに実行することが望ましいと判断された事項は、P実装プロセス、またはC実行プロセスに飛ぶ	想定したリソースが確保できず、構想プロセスに移行できる目途が立たない場合は、V3に戻る
インプット	問題意識としての漠然とした想い 不満、不安、期待、夢、希望	問題意識のメモ書き、またはスピーチ	列挙された目標と課題	承認された方針（Success Imageとそれに至るシナリオ）
アウトプット	“問題意識”のメモ書き、またはスピーチ（整理されていなくてもよい）	列挙された目標と課題	承認された方針（Success Imageとそれに至るシナリオ）	伝達された方針 構想プロセス受託者
制約		人材	人材	
推進責任者	責任者本人	責任者本人、または責任者の意図を理解している代理者	責任者本人、または責任者の意図を理解している代理者	責任者本人、または責任者の意図を理解している代理者
リソース	漠然とした想いを持った、または共有した責任者、内部人材、必要に応じ創発を支援する外部人材、ステークホルダー 言葉にするためのヒントをくれる人	責任者本人、または柔軟な発想が可能な少人数の内部人材、必要に応じ創発を支援する外部人材	責任者本人及び現状分析を行ったチーム、プロジェクトプランニングに精通した内部人材、必要に応じて外部人材	委託責任者、構想プロセス受託候補者

⋮

3. 次期の活動内容とメンバー募集

VCPC
Value-Chain Process Council

一緒に“VCPC”を創造するメンバーを募集します！

活動テーマ

実践的VCPCキューブ

目的

VCPCキューブを世の中に広めて役立たせる
- VCPCキューブの活用手法を確立する
- VCPCキューブの使い手を育成する

内容（案）

※参加メンバーで内容を確定する

- チェックリストのテンプレート作成
  （チェックリストのサンプル作成）
- 学会発表、学術誌への投稿
- VCPCキューブの解説書作成
- プロセス定義書の英語版作成

条件

参加者は自分の課題・想いを持って参加する

NEWS： 国際会議でWG活動の成果発表が採択

10月30、31日にマレーシアで開催される国際会議

International Conference on Humanities (ICH2019)　で

当協議会WG活動「想いを育て戦略展開するプロセス研究」の研究成果発表が採択されました。

WGで開発したVCPCキューブを世界に発信いたします。

■発表の概要
http://vcpc.org/vcm-process-framework-abstract

■会議の概要
http://ich.usm.my/index.php/en/